

昨年のライティングマラソン報告



昨年のライティングマラソンでどれだけの人たちが手紙書きをしたのでしょうか。その数字がわかるライティングマラソンの成果報告が国際事務局から届きました。

世界のアクション（手紙書き、メール、SNS など）の総数は、6,609,8371 件です。前年が 5,911,113 件でしたから、10%以上も増えています。日本からはおよそ 8,600 人が参加し、1 万 4,000 通の手紙が送られました。みなさまのご支援のおかげで、様々な困難に立ち向かっている人たちの思いを関係当局に伝えることができましたと思います。

下の表は、ケースごとのアクション数です。フィリピンからお招きし、各地で講演の機会を持ったマリネルさんにもたくさんのアクションが集まりました。

ありがとうございました！

手紙書き対象者名	アクション数
イーミル・アストロウォク（ベラルーシ）	292,418
グラッシー・ナロウズの若者たち（カナダ）	448,418
イリヤシジャン・レヘマン（中国）	451,943
イブラヒム・エズ・エルディン（エジプト）	392,562
サラ・マルディニとショーン・バインダー（ギリシャ）	731,392
ヤサマン・アリアニ（イラン）	1,240,686
ホセ・アドリアン（メキシコ）	466,423
ナス・アブドゥルアジーズ（ナイジェリア）	458,981
マリネル・スモーク・ウバルド（フィリピン）	528,070
マガイ・マティオップ・ンゴング（南スーダン）	765,014

中国：人権弁護士 王さん 5 年ぶりに我が家へ



国家政権転覆罪で 4 年半収監され、釈放後も「隔離」と称する拘束が続いていた人権派弁護士、王全璋さんが、4 年 9 カ月ぶりに我が家に帰ることができました。

法輪功修練者や新公民運動の関係者らを弁護していた弁護士の王さんは 2015 年 8 月、他の弁護士や活動家とともに拘束され、その後、国家政権転覆容疑を受けた後も 3 年以上の勾留されてきました。昨年 1 月、ようやく下された判決が実刑 4 年半でした。勾留されてきた 3 年半近くの期間が差し引かれるため、残る期間は 1 年余りでした。

ずっと面会を許されなかった妻の李文足さんが、昨年 6 月に面会した時は、全く別人のようだと思うほど変わり果てていたそうです。残り半年がどれほど長く感じたか、想像に難くありません。

今年 4 月上旬、待ちに待った釈放です。ところが、新型コロナウイルス対策の隔離が必要だとして、北京の自宅から 400 キロも離れた山東省の施設でさらに 2 週間拘束されたのです。4 月 27 日、ようやく 4 年 8 カ月ぶりの帰宅となりました。

妻の李文足さんが、ツイッターでアムネスティの支援者にメッセージを送ってきました。

「夫がようやく帰ってきました。この 5 年間、皆さんの支援がなければ、私たちは、この苦難を乗り切れたかわかりません。いつも寄り添ってくれた皆さんに心から感謝します」

香港：著名民主派 15 人を逮捕



4月18日、民主派の議員や元議員、弁護士ら15人が、昨年6月に始まった反政府デモをめぐり、違法なデモを主催・参加したとして逮捕されました。15人には、民主党創設者の李柱銘（マーティン・リー）さんやメディア界の実業家、黎智英（ジミー・ライ）さんが含まれています。15人のうち5人は、違法な集会を告知した容疑も受けています。いずれの容疑も公安条例違反です。

2014年の雨傘運動以来、多数の市民が公安条例違反で逮捕され、有罪となり、収監されてきました。デモが再び活発化した昨年の後半、公安条例が頻繁に適用され、47件のデモが不許可となったのですが、15人は、その中の3件のデモに関わったとされています。

国連人権委員会は、香港政府に対し公安条例は集会の権利を過度に制限するおそれがあるとして、条例の見直しを求めてきました。今回の一斉逮捕で、この条例がはらむ危険性と香港政府のデモ阻もうとする強硬な姿勢が、浮き彫りになりました。

■支援してください

15人の容疑を取り消し、公安条例の改正を求めるよう当局に働きかけてください。[こちらのサイト](#)または、インターネットで「アムネスティ 香港 15人」と検索して、表示される「要請文」をご利用ください。ぜひ、皆さんのご支援をお願いします。

キルギス：不当な投獄にストップを！



@Amnesty International

人権活動家のアジムジャン・アスカロフさんは、2010年の民族衝突で発生した殺人に関わった容疑で終身刑を受け、収監されてから今年で10年が経ちます。この

5月で69才になるアスカロフさんは、心臓に疾患を持ち、ウイルスに感染すれば命を落とすおそれがあるため、一刻も早い釈放が必要です。

2010年6月、キルギス南部でキルギス系とウズベク系住民の大規模な衝突があり、470人以上が死傷し多数が逮捕されました。ただ、死傷者の大半がウズベク系住民で、逮捕・処罰されたのもほとんどがウズベク系だという不自然さがありました。

ウズベク系のアスカロフさんは当時、衝突現場で人権侵害の状況を調べていました。日頃からその人権活動で当局から敵視されていましたが、衝突事件から数日後、衝突時に死亡したキルギス系警官殺しの容疑で他のウズベク系の7人とともに逮捕され、終身刑を宣告されました。勾留中の拷問、証拠の捏造、形式的な審理というでたらめぶりでした。

2016年には、国連人権委員会が、キルギス政府に、アスカロフさんの釈放と有罪判決の棄却を求めました

■支援してください

アスカロフさんを即時無条件に釈放するよう当局に求めてください。[こちらのサイト](#)または、インターネットで「アムネスティ アスカロフ」と検索して、表示される「要請文」をご利用ください。ぜひ、ご支援をお願いします

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp
UA 年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本